

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
<http://uchida-tamotsu.jimdo.com>



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

地域公共交通活性化・再生協議会から

〈町からの報告〉
2023年の西海岸線では、14万5289人で目標を達成している。また、廃止された豊浜線も10万1511人で目標が達成された。しかし、知多バスの師崎線が廃止となり、10月から実施された左・右回りのループ化について、皆さんのご意見を聞きたい。

河和駅から最終時刻をのばしてほしい。

内海高校では12月に総合学習で1年生の50名が日間賀島へ行った。高校生は将来のリピーターである。来年の1年生にも紹介して、地域に貢献し、高校生の視点で、風景写真や、南知多町と取り組みを交流していくとありがたい。

昨年12月22日「地域公共交通活性化・再生協議会」が開かれました。また、1月15・19日に町内5か所で海っ子バスのあり方を考えるタウンミーティングが開かれました。その中で、10月からの路線変更の課題が話し合われました。タウンミーティングでは、各会場で6人から15人ぐらゐの出席者で、積極的な意見が出されました。使いやすい海っ子バスにしていきたいものです。その中で出された意見を紹介します。

「海っ子バスの未来を考える会」が開かれる

観光からの視点でお客さんのリピートはどうか。時間がかりすぎるのは、大きな問題ではないか。安く乗れるが、もう少し早く到達できたらいい。



バスの停留所があるが、観光客専用の路線ができないか。停留所の近くに観光をアピールする工夫が必要ではないか。



船の接続を考え作っていくのは大変いいのではないか。町外へ行くのは70%であり、スーパーがなくなった等の町の生活に合わせた海っ子バスにしていける必要がある。



海っ子バスを使っていく考え方を高めて行くことが必要である。みんなの海っ子バスにしていけるか。

豊浜豊丘線がなくなり、不便になった。

回数券は4千円(15枚分)かかるため、年金ぐらしの高齢者にとって厳しい。



使いやすい海っ子バスに



バスの中にアンケート用紙を用意して、実際の利用者の多くの人の声を集めるといい。



師崎港の停車時間が1分は短い。

豊浜河和間で直通がなくなったのは、高校生を持つ親は大変。

白いバスにはマッピングするといい。

バス停にベンチや屋根がほしい。

中学生からアンケートをとったらかうか

河和駅の特急電車との接続をスムーズにしてほしい。

河和駅での待ち時間が20分もある。継続して乗る人には時間がかかりすぎる。

内海の町図書室までのバスルートも必要ではないか。

2千円で買える回数券を作してほしい

今乗れない地域(内福寺や岩屋など)をどうするのか。高齢者への配慮として、将来そのような所もぐるぐる回るバスがあるといい。

桜の名所めぐりや内田佐七家のイベント等をもっと宣伝し乗客を増やす工夫を。

タウンミーティング等から

右回り・左回りのバスがどこに行くか行先を明確にすることが必要である。

1日券の日をちを手書きで書くので、時間がかかり、待つ人も困るし、運転手も大変である。スタンプにしたい。

1区間のみの時は100円の対応ができないか。

火葬場もあるので、檜の木バス停もほしい。

小・中学生のが無料になったことは、とても喜ばれている。

1本で乗り換えなしで行けるようになり、便利になった。



とても丁寧な説明をしてくれる運転手さんがいて、親切で嬉しかった。

今回のタウンミーティングでは、全体で70~80人の参加があり、様々な意見が出されました。今回料金の改定で2千万円ほど赤字が改善されるとのことでした。

地方のコミュニティバスの赤字に対しては国から特別交付金税があります。今年度も南知多町では、赤字約6400万×0.8で申請し、3月に交付されるということです。人口の少ない小さな町でも住みやすい町にするために交付税も生かし、町民からの意見を取り入れて、様々な工夫をしてほしいものです。

障がいのある方や高齢者など、乗り降りや支払いなどに時間がかかる方へ、配慮ある言葉かけを、運転手にはお願いしたい。「早くしろ」「なにやっとなる」というような強い言い方でバスに乗れなくなった方もいたとのこと。